

大学における公共獣医事教育推進委託事業  
分野 2 『畜産等分野における全国の実習システムの構築』  
平成 27 年度業務成果報告

岐阜大学

## 管理運営組織

### 本事業の役割分担及び事業担当者

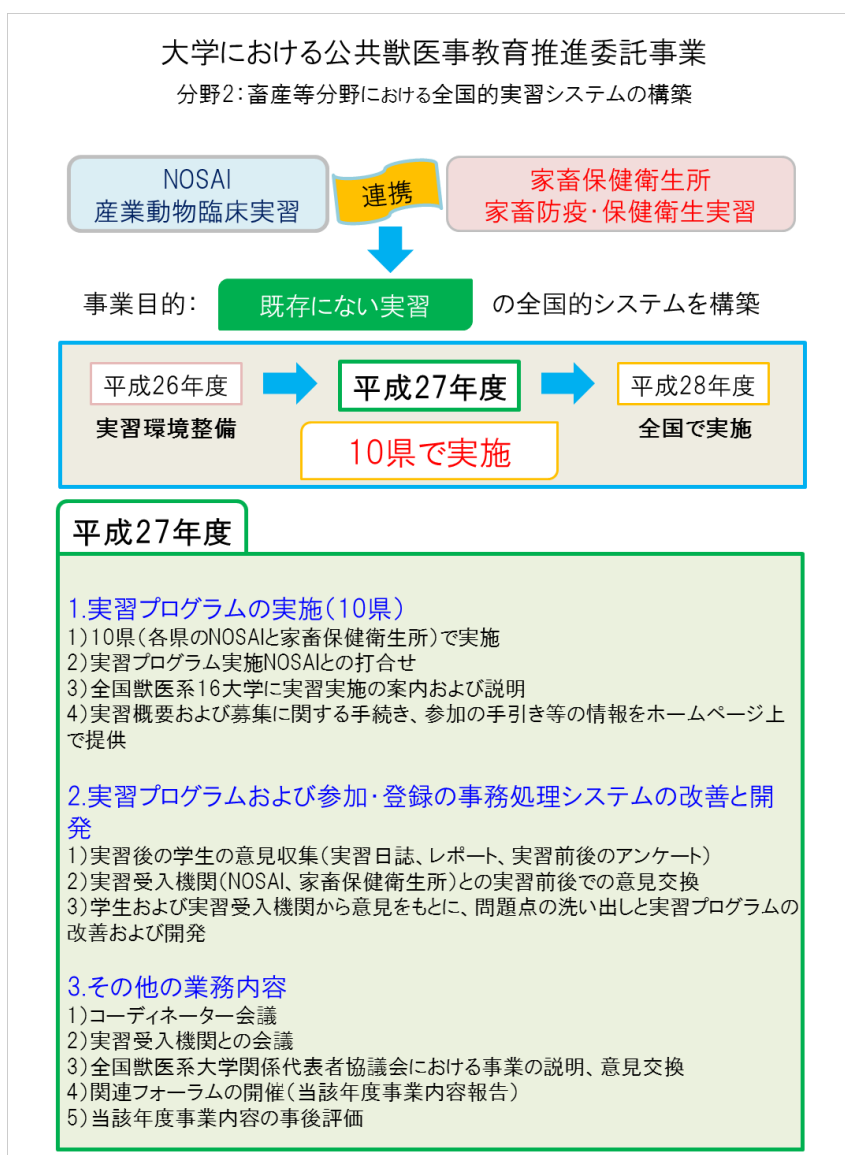
氏名	所属部局・職名	本事業における役割
森脇 久隆	岐阜大学・学長	事業推進代表者
北川 均	岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科・教授	事業推進責任者 事業全体の統括
小森 成一	岐阜大学応用生物科学部・特任教授	チーフコーディネーター 岐阜大学における事業統括, 連携大学との連絡調整および産業動物臨床実習内容の調整
田島 誉士	酪農学園大学獣医学群獣医学類・教授	連携コーディネーター 酪農学園大学における事業の統括および産業動物臨床実習の調整
菊池 元宏	北里大学獣医学部獣医学科・准教授	連携コーディネーター 北里大学における事業の統括および産業動物臨床実習の調整
窪田 力	鹿児島大学共同獣医学部獣医学科・教授	連携コーディネーター 鹿児島大学における事業の統括および産業動物臨床実習の調整
大場 恵典	岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科・教授	コーディネーター 事業実施全般の統括
高島 諭	岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科	事業補助員 実習プログラムの内容を検討、実習プログラムの試行を実施、実習プログラムの修正・改善する。
中川 亜古	岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科	事務補佐員 事業の事務全般(申込受付、登録、外部専門機関、全国獣医系 16 大学との募集要綱、参加申込、受入決定等の通知)

## 平成 27 年度事業概要(図 1)

本事業では、公共獣医事に係る実習プログラムとして家畜衛生分野と産業動物診療分野を連携させた実習プログラムを開発し、このプログラムを実施する実習システムを構築する。実習プログラムの目的は、臨床現場における家畜防疫・保健衛生などに重点を置き、家畜保健衛生所と NOSAI(家畜診療所)との連携に焦点を当て、家畜の診断、治療から防疫・保健衛生に至る総合的かつ実践的な専門知識・技能も併せもった獣医師を養成することである。

平成 26 年度は、実習環境を整備した。具体的には、実習プログラム開発および参加・登録システムを開発した。平成 27 年度は、開発した実習プログラムを 10 か所の臨床研修指定 NOSAI と関連家畜保健衛生所で実施するとともに、その実施結果を踏まえた実習プログラムの改善と開発を目標とした。さらに事業を円滑に進めるために下記の会議、プログラム試行、シンポジウム等を実施した。

図 1



## 実績報告

### 1) 新規実習プログラムの実施

- ①全国獣医系 16 大学に実習実施の案内および説明
- ②実習プログラム概要および募集に関する手続き、参加の手引きのダウンロード等の情報をホームページ上で提供
- ③実習プログラムの実施

### 2) 実習プログラムの改善と開発

- ①実習後の学生の意見収集(実習日誌、レポート、実習後アンケート)
- ②学生および実習現場からの意見をもとに、問題点の洗い出しと実習プログラムの改善および開発
- ③実習担当者(NOSAI や家畜保健衛生所など)との意見交換

## 関連会議等

### 1) 第 1～3 回コーディネーター打合せ会議

- ①第 1 回コーディネーター打合せ会議・議事次第
- ②第 2 回コーディネーター打合せ会議・議事次第
- ③第 3 回コーディネーター打合せ会議・議事次第

### 2) 全国獣医系大学関係代表者協議会における事業説明

- ①第 103 回全国大学獣医学関係代表者協議会
- ②第 104 回全国大学獣医学関係代表者協議会

### 3) 実習担当者会議

### 4) シンポジウム(関連フォーラム)の開催

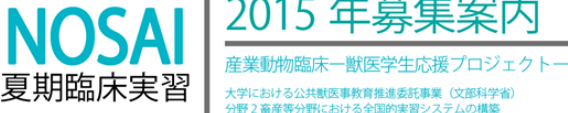
### 5) 個別協議

# 実績報告

## 1) 新規実習プログラムの実施

### ① 全国獣医系 16 大学に実習実施の案内および説明

新規実習プログラムを実施するために、全国獣医系 16 大学の担当教員宛に以下の募集案内および申込手続方法に関する説明書を送付し、実習参加学生のとりまとめを依頼した。

<p style="text-align: right;">平成 27 年 4 月 3 日</p> <p>◀大学名▶ ◀学部学科▶◀NOSAI 実習担当教員所属▶ NOSAI 夏期臨床実習担当 ◀NOSAI 実習担当教員▶ 殿</p> <p style="text-align: center;">NOSAI 夏期臨床実習チーフコーディネーター 小森 成一</p> <p style="text-align: center;">平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習参加学生の募集について</p> <p>NOSAI 夏期臨床実習の実施につきましては、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。</p> <p>平成 26 年度より「大学における公共獣医事教育推進委託事業」の一環として、岐阜大学が農業共済団体等における臨床実習の窓口となって、参加申込のとりまとめを行っております。同取り組みは平成 27 年度も継続しますので、ご協力をお願いいたします。なお、申込方法において変更点がございますので、ご注意ください。詳細につきましては、添付書類の 3 を参照ください。</p> <p>つきましては、下記の関連資料をお送りしますので、学生宛にご周知ください。また、お手数ですが NOSAI 夏期臨床実習担当教員を定め、貴大学における参加希望学生を取りまとめのうえ、岐阜大学宛に申込みいただきたく、ご協力をお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>NOSAI 夏期臨床実習募集案内</li> <li>NOSAI 夏期臨床実習「スタンダード編とステップアップ編の違い」</li> <li>平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習について (別紙)平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習担当教員および事務員</li> <li>平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習スタンダード編実施要綱</li> <li>平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習ステップアップ編実施要綱</li> </ol> <p style="text-align: center;">NOSAI 夏期臨床実習事務局 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科 産業動物臨床学研究室 大場恵典 〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1 TEL: 058-293-2896 FAX: 058-293-3466 E-mail: ohba@gifu-u.ac.jp</p>	<div style="text-align: center;">  <p>産業動物臨床—獣医学生応援プロジェクト— 大学における公共獣医事教育推進委託事業（文部科学省） 分野 2 畜産等分野における全国の実習システムの構築</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; background-color: #e0f0e0;">概 要</td> <td>NOSAI 夏期臨床実習は、将来の産業動物臨床を担う獣医師の養成を目的として、獣医学生に対し、NOSAI(農業共済団体等)における往診随行などの臨床実習を提供するものです。産業動物臨床に必要な実践的な知識・技能を習得するとともに、家畜共済事業の役割や NOSAI 家畜診療所の業務等を理解することを目指します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; background-color: #e0f0e0;">スタンダード編とステップアップ編</td> <td><b>スタンダード編</b>は、実習生の学年や理解度に応じて、産業動物臨床に興味を持つこと、NOSAI の仕組みや家畜診療所の業務等を理解することを目的とした実習、産業動物臨床に必要な実践的な知識・技能を習得することを目的とした実習等を行います。 <b>ステップアップ編</b>は、産業動物臨床獣医師を志す学生を対象として、将来の診療業務に直接結びつくような、より発展的な実習を行います。北海道・宮城県・山形県・千葉県・兵庫県・鳥取県・岡山県・広島県・宮崎県・鹿児島県の NOSAI で実施します。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; background-color: #e0f0e0;">参加申込方法</td> <td>申込みには「仮申込」と「本申込」があります。<b>仮申込のままでは申し込んだことにはなりません。</b> <b>【仮申込：学生が行う】</b> NOSAI 夏期臨床実習ホームページ上で学生が仮申込を行ってください。 <b>【本申込：担当教員が行う】</b> 本申込に必要な提出書類を所属大学の NOSAI 夏期臨床実習担当教員へ提出してください。 <b>「産業動物臨床—獣医学生応援プロジェクト—」</b> <a href="http://www.animalhospital.gifu-u.ac.jp/koutei/">http://www.animalhospital.gifu-u.ac.jp/koutei/</a> <b>* 仮申込および本申込の詳細についてはホームページ上の「参加申込手続きの流れ」を参照してください。</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; background-color: #e0f0e0;">参加募集開始と申込期限</td> <td><b>ステップアップ編</b> 平成 27 年 4 月 10 日(金)～5 月 1 日(金)(岐阜大学必着) <b>スタンダード編</b> 平成 27 年 4 月 17 日(金)～6 月 9 日(火)(岐阜大学必着) <b>※ただし、所属大学の NOSAI 夏期臨床実習担当教員への申込期限は大学により異なるので、個別に確認をしてください。</b></td> </tr> </table>	概 要	NOSAI 夏期臨床実習は、将来の産業動物臨床を担う獣医師の養成を目的として、獣医学生に対し、NOSAI(農業共済団体等)における往診随行などの臨床実習を提供するものです。産業動物臨床に必要な実践的な知識・技能を習得するとともに、家畜共済事業の役割や NOSAI 家畜診療所の業務等を理解することを目指します。	スタンダード編とステップアップ編	<b>スタンダード編</b> は、実習生の学年や理解度に応じて、産業動物臨床に興味を持つこと、NOSAI の仕組みや家畜診療所の業務等を理解することを目的とした実習、産業動物臨床に必要な実践的な知識・技能を習得することを目的とした実習等を行います。 <b>ステップアップ編</b> は、産業動物臨床獣医師を志す学生を対象として、将来の診療業務に直接結びつくような、より発展的な実習を行います。北海道・宮城県・山形県・千葉県・兵庫県・鳥取県・岡山県・広島県・宮崎県・鹿児島県の NOSAI で実施します。	参加申込方法	申込みには「仮申込」と「本申込」があります。 <b>仮申込のままでは申し込んだことにはなりません。</b> <b>【仮申込：学生が行う】</b> NOSAI 夏期臨床実習ホームページ上で学生が仮申込を行ってください。 <b>【本申込：担当教員が行う】</b> 本申込に必要な提出書類を所属大学の NOSAI 夏期臨床実習担当教員へ提出してください。 <b>「産業動物臨床—獣医学生応援プロジェクト—」</b> <a href="http://www.animalhospital.gifu-u.ac.jp/koutei/">http://www.animalhospital.gifu-u.ac.jp/koutei/</a> <b>* 仮申込および本申込の詳細についてはホームページ上の「参加申込手続きの流れ」を参照してください。</b>	参加募集開始と申込期限	<b>ステップアップ編</b> 平成 27 年 4 月 10 日(金)～5 月 1 日(金)(岐阜大学必着) <b>スタンダード編</b> 平成 27 年 4 月 17 日(金)～6 月 9 日(火)(岐阜大学必着) <b>※ただし、所属大学の NOSAI 夏期臨床実習担当教員への申込期限は大学により異なるので、個別に確認をしてください。</b>
概 要	NOSAI 夏期臨床実習は、将来の産業動物臨床を担う獣医師の養成を目的として、獣医学生に対し、NOSAI(農業共済団体等)における往診随行などの臨床実習を提供するものです。産業動物臨床に必要な実践的な知識・技能を習得するとともに、家畜共済事業の役割や NOSAI 家畜診療所の業務等を理解することを目指します。								
スタンダード編とステップアップ編	<b>スタンダード編</b> は、実習生の学年や理解度に応じて、産業動物臨床に興味を持つこと、NOSAI の仕組みや家畜診療所の業務等を理解することを目的とした実習、産業動物臨床に必要な実践的な知識・技能を習得することを目的とした実習等を行います。 <b>ステップアップ編</b> は、産業動物臨床獣医師を志す学生を対象として、将来の診療業務に直接結びつくような、より発展的な実習を行います。北海道・宮城県・山形県・千葉県・兵庫県・鳥取県・岡山県・広島県・宮崎県・鹿児島県の NOSAI で実施します。								
参加申込方法	申込みには「仮申込」と「本申込」があります。 <b>仮申込のままでは申し込んだことにはなりません。</b> <b>【仮申込：学生が行う】</b> NOSAI 夏期臨床実習ホームページ上で学生が仮申込を行ってください。 <b>【本申込：担当教員が行う】</b> 本申込に必要な提出書類を所属大学の NOSAI 夏期臨床実習担当教員へ提出してください。 <b>「産業動物臨床—獣医学生応援プロジェクト—」</b> <a href="http://www.animalhospital.gifu-u.ac.jp/koutei/">http://www.animalhospital.gifu-u.ac.jp/koutei/</a> <b>* 仮申込および本申込の詳細についてはホームページ上の「参加申込手続きの流れ」を参照してください。</b>								
参加募集開始と申込期限	<b>ステップアップ編</b> 平成 27 年 4 月 10 日(金)～5 月 1 日(金)(岐阜大学必着) <b>スタンダード編</b> 平成 27 年 4 月 17 日(金)～6 月 9 日(火)(岐阜大学必着) <b>※ただし、所属大学の NOSAI 夏期臨床実習担当教員への申込期限は大学により異なるので、個別に確認をしてください。</b>								

2015  
NOSAI  
夏期  
臨床実習

スタンダード編・ステップアップ編  
違いについて

「産業動物臨床—獣医学生応援プロジェクト—」

スタンダード  
編

目的

産業動物臨床現場について  
知り、興味を持つ

実習  
対象者

産業動物臨床に興味・関心がある学生

実施  
NOSAI

全国の NOSAI

ステップアップ  
編

目的

将来の産業動物臨床の診療に  
直接結びつく知識・技術を習得する

実習  
対象者

産業動物臨床獣医師を志す学生

実施  
NOSAI

北海道・宮城県・山形県  
千葉県・兵庫県・島根県  
岡山県・広島県・宮崎県  
鹿児島県

NOSAI 夏期臨床実習担当教員の皆様へ

平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習について

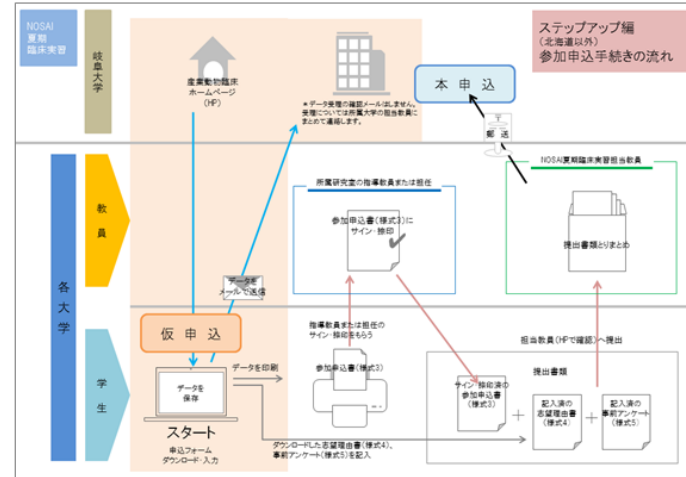
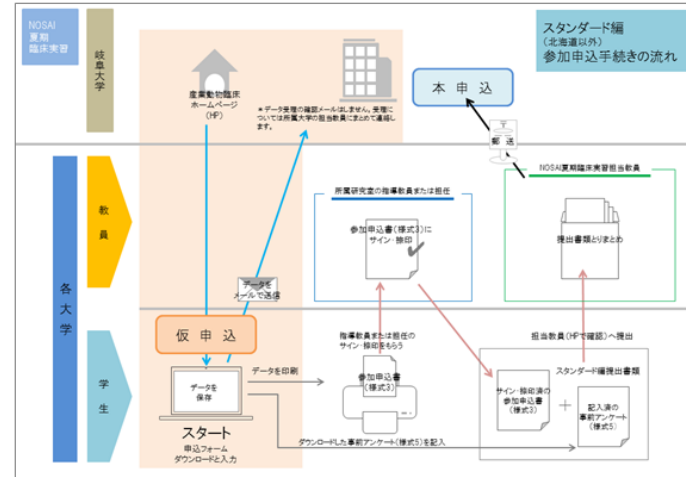
1. 参加手続き

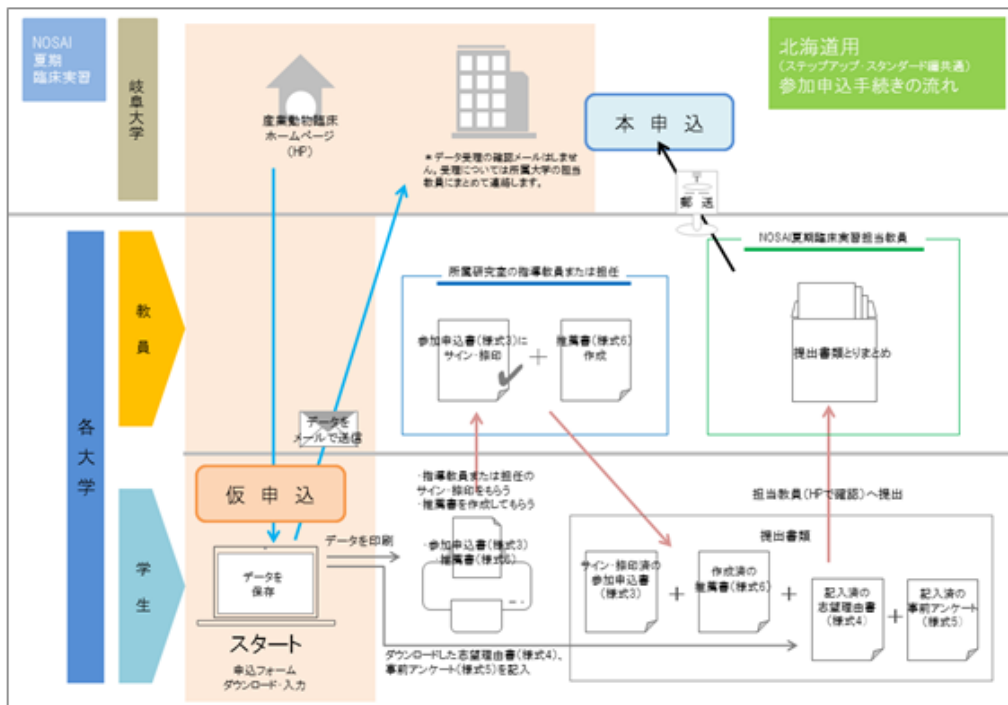
参加申込方法	<p>申込みには「仮申込」と「本申込」があります。仮申込のままでは申し込んだことにはなりません。</p> <p>【仮申込：学生が行う】 NOSAI 夏期臨床実習ホームページ上で学生が仮申込を行います。</p> <p>【本申込：担当教員が行う】 本申込として提出する農大学の参加希望学生の参加申込書類（下記）をとりまとめ NOSAI 夏期臨床実習事務局（岐阜大学）へ郵送してください。</p> <p>* 仮申込から本申込の流れの詳細については「3. 申込方法の変更点（参加申込手続きの流れ）」を参照してください。</p>
参加申込書類	<p>&lt;スタンダード編&gt; 1. 参加申込書（様式 3） 2. 志望理由書（様式 4・北海道実習希望者のみ必要） 3. 事前アンケート（様式 5） 4. 推薦書（様式 6・北海道実習希望者のみ必要）</p> <p>&lt;ステップアップ編&gt; 1. 参加申込書（様式 3） 2. 志望理由書（様式 4） 3. 事前アンケート（様式 5） 4. 推薦書（様式 6・北海道実習希望者のみ必要）</p>
参加申込期限	<p>&lt;スタンダード編&gt;平成 27 年 6 月 9 日（火）（岐阜大学必着） &lt;ステップアップ編&gt;平成 27 年 5 月 1 日（金）（岐阜大学必着）</p>
参加決定の通知と参加決定後に提出する書類のとりまとめ	<p>受入 NOSAI と調整のうえ各学生の実習参加の可否を決定し、各大学の NOSAI 実習担当教員にお知らせします。 所属学生に通知いただき、所属学生が実習に参加する場合には、下記の書類を NOSAI 夏期臨床実習事務局（岐阜大学）へ提出してください。</p>
参加決定後に提出する書類	<p>&lt;共通&gt; 1. 誓約書（様式 11） 2. 傷害保険及び賠償責任保険に加入していることがわかる書類</p>
「参加決定後に提出する書類」の提出期限	<p>&lt;スタンダード編&gt;平成 27 年 7 月 15 日（水）（岐阜大学必着） &lt;ステップアップ編&gt;平成 27 年 6 月 8 日（月）（岐阜大学必着）</p>
申込先 書類の提出先	<p>NOSAI 夏期臨床実習事務局 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科 産業動物臨床学研究室 大塚恵典 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 TEL:058-293-2896 FAX:058-293-3466 メールアドレス: chba@gifu-u.ac.jp</p>

## 2. 手続き日程

日程(締切日)	実習区分	手続き内容	担当組織
4月	10日(金)	ステップアップ 募集開始	岐阜大学 → 16大学
	17日(金)	スタンダード 募集開始	岐阜大学 → 16大学
5月	1日(金)	ステップアップ 申込締切	16大学 → 岐阜大学
	1日(月)	ステップアップ 実習生通知	岐阜大学 → 16大学
6月	8日(月)	ステップアップ 追加書類の提出期限	16大学 → 岐阜大学
	9日(火)	スタンダード 申込締切	16大学 → 岐阜大学
7月	8日(水)	スタンダード 実習生通知	岐阜大学 → 16大学
	15日(水)	スタンダード 追加書類の提出期限	16大学 → 岐阜大学
受入決定通知書受領後速やかに	共通	事前打合せ	実習生 → 受入診療所または組合
実習	共通	実習実施	実習生 → 受入診療所
実習終了後1週間	共通	実習日誌・アンケートの提出	実習生 → 岐阜大学
そろい次第	共通	修了証・実習状況報告書の送付	岐阜大学 → 16大学

## 3. 申込方法の変更点(参加申込手続きの流れ)





#### 4. ホームページ

学生向けの手引きおよび必要書類等は「産業動物臨床一獣医学生応援プロジェクト」ホームページからダウンロードできます。(アドレス) <http://www.animalhospital.gifu-u.ac.jp/koutei/>

#### 5. 注意事項

- ※ 参加の募集開始がスタンダード編とステップアップ編で異なります。ホームページに「受入可能 NOSAI 一覧」が掲載され次第、募集開始となります。
- ※ 参加申込期限がスタンダード編とステップアップ編で異なります。
- ※ 北海道における実習について
  - ・北海道の実習対象者は北海道の NOSAI に就職を希望する者に限ります。
  - ・北海道における実習は、学生が実習を希望する組合を指定し、受入先診療所は受入組合が指定します。希望診療所を指定することはできません。
  - ・北海道での実習を希望する場合は、参加申込の必要書類が異なりますので、注意してください。

#### 6. お願い

NOSAI 夏期臨床実習担当教員の通知について

大学毎に NOSAI 夏期臨床実習担当教員を定め、参加手続きのとりまとめを行っていただくようお願いいたします。学生が容易に担当教員にアクセスできるように、各大学の担当教員のリストをホームページに掲載します。(別紙)「平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習担当教員および事務員リスト」を記入していただき、NOSAI 夏期臨床実習事務局へ 4 月 10 日(金)までにメールにてご返信ください。前年度から担当者に変更がない場合も、お手数ですがご記入の上、お知らせください。よろしくお願いいたします。



②実習プログラム概要および募集に関する手続き、参加の手引きのダウンロード等の情報をホームページ上で提供

図1 実習概要、具体的実習内容、参加申込手続き等ホームページ上で公開した。

分野2 畜産等分野における全国的実習システムの構築

# 産業動物臨床

— 獣医学生応援プロジェクト —

産業動物臨床獣医師の仕事現場ってどんなところ？

夏休みのインターンシップはNOSAI夏期臨床実習へ行こう！

HOME

**獣医学生のみなさまへ**

- NOSAI夏期臨床実習とは？
- スタンダード編への申込み
- ステップアップ編への申込み
- 参加学生の声
- ? 困ったときは
- 参加の手引きをダウンロード

**獣医学生のみなさまへ**

NOSAI夏期臨床実習とは？

**獣医学関連 教員のみなさまへ**

NOSAI夏期臨床実習へのご協力をお願い

## 申込みの流れ

### スタンダード編

獣医学部(科) 1~6年生対象

### ステップアップ編

獣医学部(科) 5,6年生優先  
将来臨床獣医師を目指す学生はこちら

申込みの流れ>(\*クリックで「参加申込手続きの流れ」の図が参照できます。)

[申込フォームはこちらから](#)


### 新着情報

2015年5月26日	学生・教員	スタンダード編の受入可能NOSAIを更新しました(大分県受付終了)。
2015年4月27日	学生・教員	スタンダード編の受入可能NOSAI(静岡県)を追加公開しました。
2015年4月20日	学生・教員	ステップアップ編の受入可能NOSAIを更新しました。
2015年4月20日	学生・教員	スタンダード編の受入可能NOSAIを更新しました。

図 2、3、4 本事業ホームページから、参加希望学生が、専用申込フォームをダウンロードし、参加申込手続を行う。

図 2


### 参加申込書（様式3）作成用の専用申込フォームのSTEP1



STEP1では、あなたの学年と実習先の第一希望を選択してください。

ここで選択した内容がSTEP2に引き継がれます。STEP2では、STEP1で入力した内容は変更できません。

### 参加申込書（様式3）作成用の専用申込フォームのSTEP2



STEP2では、あなたの個人情報や実習希望の詳細を入力してください。

フォーム内の項目は「必須入力」とされている項目をすべて入力してください。入力にエラーがあるままSTEP3へ進もうとすると、下図の例のように該当項目が赤字で表示されますので、確認して全ての項目を正しく入力してください。

!! 在籍大学を入力してください(必須入力)

大学名

学年年次

所属研究室  研究室  未所属

指導教員  教員  非常勤

実習希望の入力欄では、組合Noまたは診療所Noの正しい入力が必要です。このホームページに掲載されている受入可能NOSAI一覧の組合No・診療所Noを確認して入力してください。

!!

[スタンダード編はこちら](#)

[ステップアップ編はこちら](#)

図 3

### 参加申込書（様式3）作成用の専用申込フォームのSTEP3

STEP3では、入力内容の最終確認をおこなってください。ここから先の画面へ進むと、一切の修正ができなくなります。

修正する場合は、画面最下部の「STEP2に戻って修正する」をクリックしてください。

申込み内容に間違いがないことを確認し、申込み手続き画面へ進んでください。

[STEP2に戻って修正する](#)

### 参加申込書（様式3）作成用の専用申込フォームのSTEP4

STEP4では、あなたの申込番号が表示されるとともに、仮申込の手続きが案内されます。画面の案内に従って「参加申込書（様式3）を表示して印刷」と「メール送信用仮申込データの保存」の2つの処理をおこなってください。

**!! 必ず、印刷と電子データの送信の両方を実施してください。**

万が一方のみの処理をして画面を閉じてしまった場合は、再度STEP1からやりなおしてください。その場合、申込番号は再発行されますので、古い申込番号で作成したデータまたは書類は破棄し、最後に発行された申込番号で作成したデータおよび書類のみを使用してください。

申込番号は、メール送信用仮申込データと印刷用画面（参加申込書（様式3））を関連づける重要な役割をはたしています。データと書類が異なる申込番号で仮申込が行われた場合、受理できませんのでご注意ください。

**!! メール送信用仮申込データは、事務局でのみ解読可能な暗号化されたデータです。**

図 4

平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習参加申込フォーム

STEP1 STEP2 STEP3 STEP4

実習先について、第一希望の都道府県を選択してください。

選択してください

実習受入可能NOSAIの詳細については、産業動物臨床 Webサイトを参照してください。  
第一希望の都道府県は、スタンダード編とステップアップ編で同一になります。

申し込むプログラムを選択してください。

[A] スタンダード編のみ申込  
 [B] ステップアップ編のみ申込  
 [C] スタンダード編とステップアップ編に同時申込

ステップアップ編への参加が不可だった場合にスタンダード編での参加を希望する場合には、

平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習参加申込フォーム

STEP1 STEP2 STEP3 STEP4

第一希望の実習先 都道府県 **青森県** 注意事項

申し込むプログラム [A]スタンダード編のみ申込

この申し込みを変更する場合は、**STEP1**に戻って選択しなおしてください。

申込日 平成  年  月  日

氏名・性別・年齢を入力してください（必須入力）

氏名 姓  名

ふりがな せい  めい

性別  男  女

年齢 満  歳

図5 全国獣医系16大学に実習担当教員を定め、実習参加希望学生が容易に担当教員にアクセスできるように、各大学の担当教員リストをホームページに掲載した。

図5

大学	担当教員	(所属研究室)
北海道大学	永野 昌志	(繁殖学)
帯広畜産大学	羽田 真悟	(獣医臨床繁殖学)
岩手大学	山岸 則夫	(産業動物臨床学)
	岡村 泰彦	(小動物外科学)
	山崎 真大	(小動物内科学)
東京大学	杉浦 勝明	(国際動物資源科学)
	今村 昌平	
東京農工大学	清水 美希	(獣医画像診断学)
岐阜大学	大場 恵典	(産業動物臨床学)
鳥取大学	太田 利男	(獣医薬理学)
山口大学	谷口 雅康	(獣医臨床繁殖学)
宮崎大学	日高 勇一	(獣医外科学研究室)
鹿児島大学	窪田 力	(獣医繁殖学)
大阪府立大学	川手 憲俊	(獣医繁殖学)
酪農学園大学	田島 誉士	(生産動物内科学Ⅰ)
北里大学	菊池 元宏	(獣医臨床繁殖学)
日本大学	堀北 哲也	(獣医産業動物臨床)
	大滝 忠利	(獣医臨床繁殖学)
麻布大学	金子 一幸	(臨床繁殖学)
日本獣医生命科学大学	余戸 拓也	(獣医外科学)
	宮川 優一	(獣医内科学研究室第二)

### ③実習プログラムの実施

#### 平成 27 年度夏期臨床実習

平成 27 年度は、前年度に開発を行った家畜衛生分野と産業動物診療分野を連携させた実習プログラムを 10 道県の農林水産省の指定する獣医師免許取得後の臨床研修指定 NOSAI(以下、10 NOSAI と記す)において実施した。

図 1 実習申込人数および参加人数

家保との連携業務を必要に応じて実体験させるプログラムを盛り込んだ夏期臨床実習を研修施設に指定されている 10 道県の NOSAI(北海道、宮城県、山形県、千葉県、兵庫県、島根県、岡山県、広島県、宮崎県、鹿児島県)で実施し、この 10 NOSAI における申込および参加人数を図 1 に示す。申込人数 128 名のうち 120 名が参加となったが、参加に至らなかった 8 名については、学生の希望する実習期間と受入先との日程が合わなかったためである。

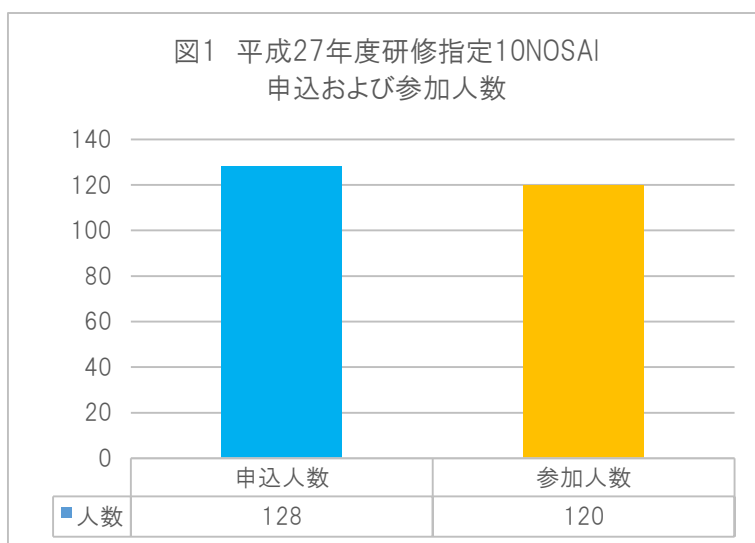


図 2、3 実習生の男女比率

実習生の男女比率を図 2 に、学年別の男女比率を図 3 に示す。実習への参加は女子学生の方が高い。1-4 年生については女子学生の参加人数が男子学生より倍以上であった。

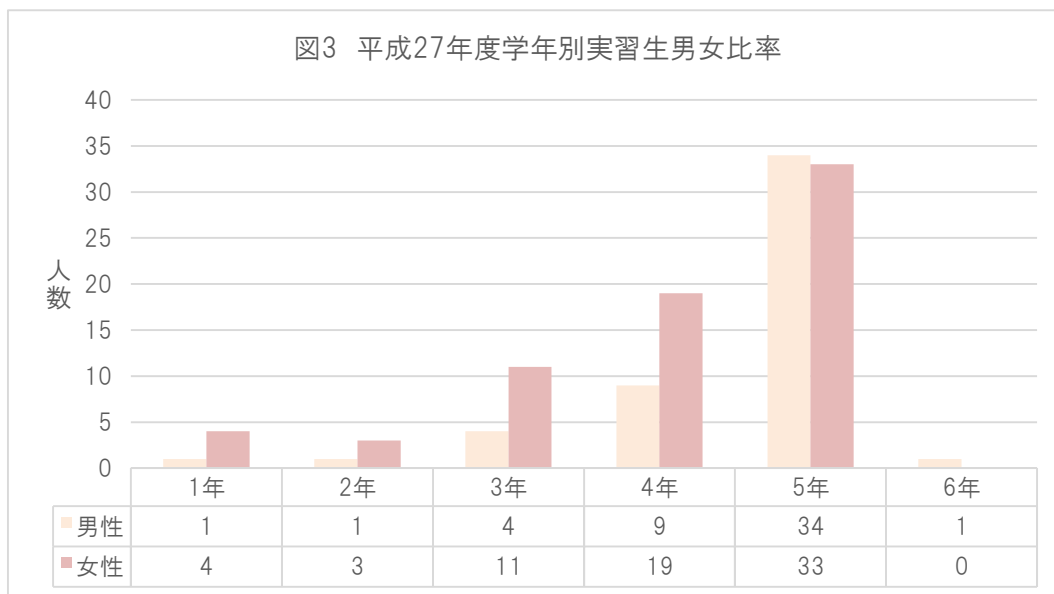
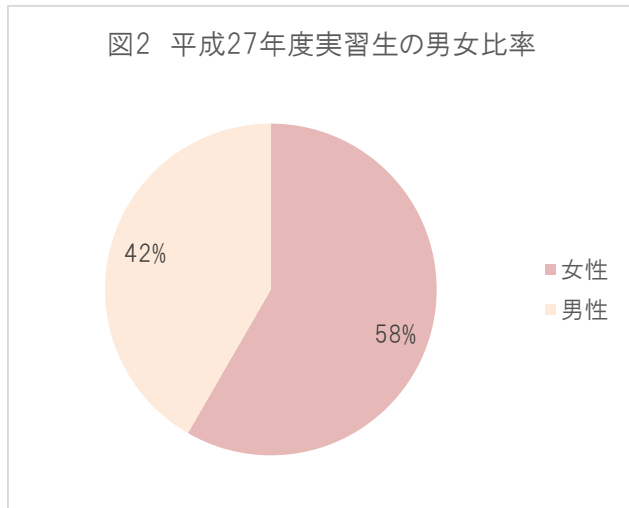


図4 学年別申込人数および参加人数

申込者および参加者ともに5年次が半数以上で最も多かった。1-4年次からの参加者は43%であり、学年が高くなるとともにその参加者数も多くなった。

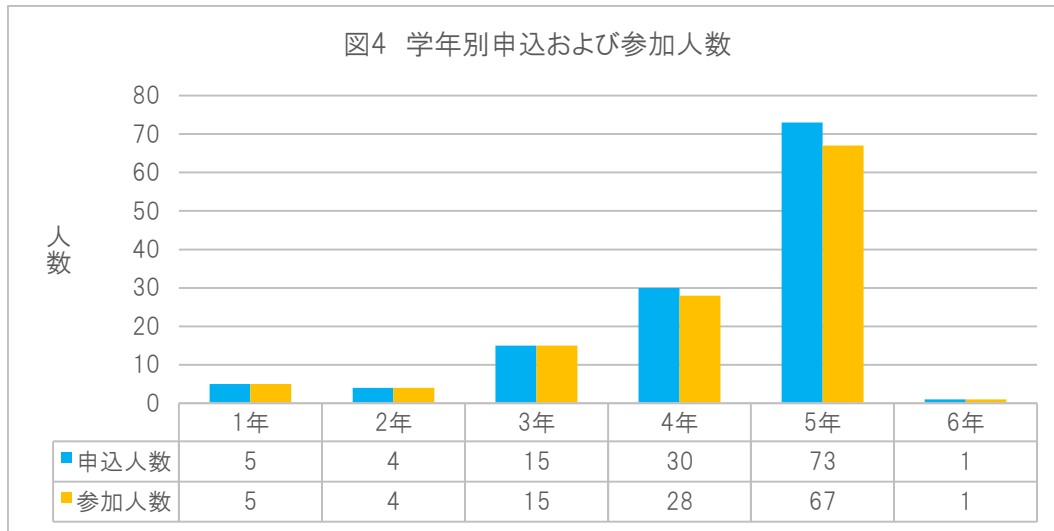


図5 大学別申込および参加人数

獣医系 16 大学のうち 15 大学から申込みおよび実習参加があった。研修指定の 10 NOSAI での実習参加は私立大学が多い傾向にあるが、学生定員数を考慮すると国立大学からの参加もかなり多いと考えられる。

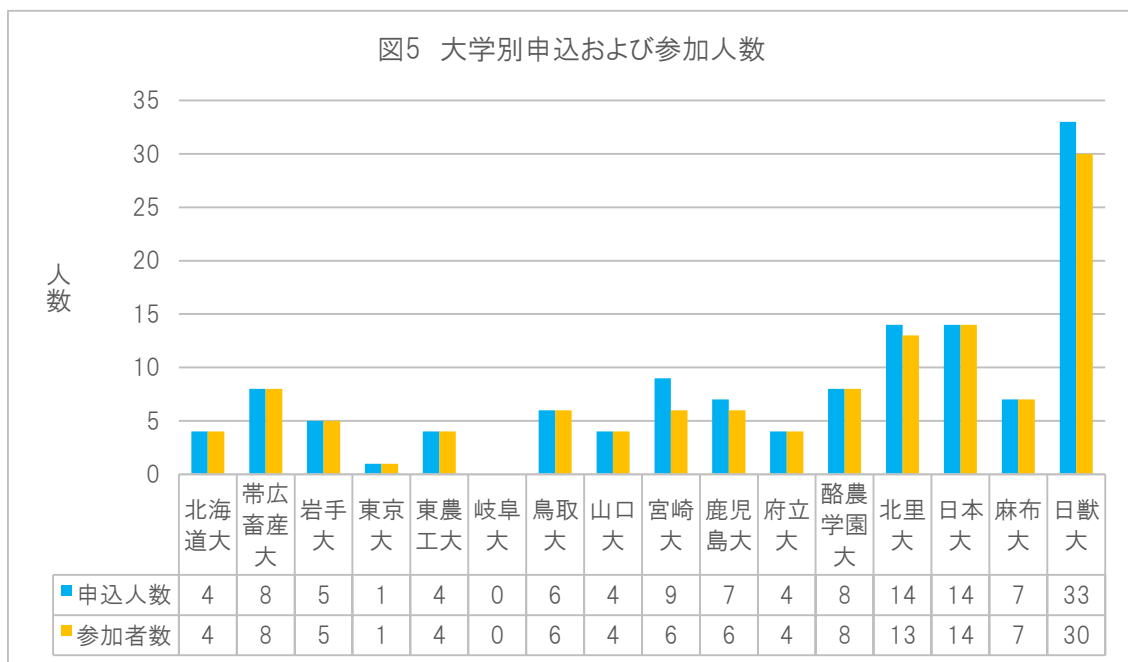




図 6 10 NOSAI 別申込および参加人数

宮城県を除く 9 NOSAI において実習生の申込・参加があった。宮城県の NOSAI では実習期間を 7 月に限ったため、学生側の希望する日程(夏季休暇等)と合わず、申込者がいなかったと思われた。実習先の選択として、宿泊施設がある診療所を希望する学生が比較的多かったが、自分の出身地の診療所を希望する学生、畜産が盛んな地域の診療所を希望する学生など様々であった。

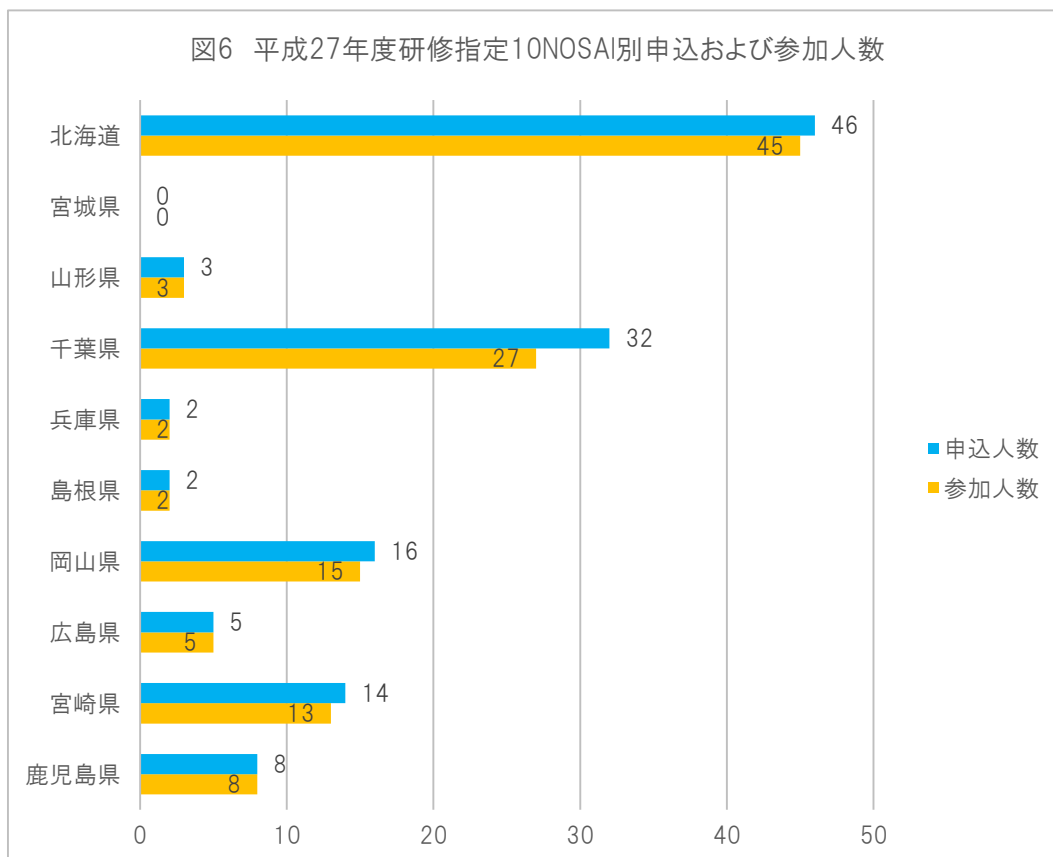
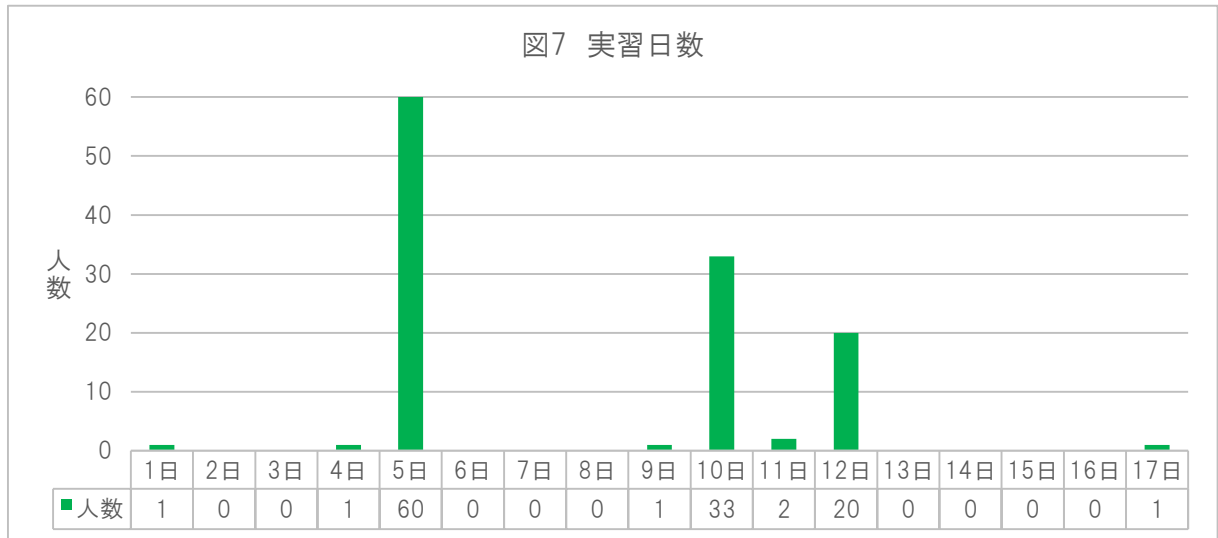


図7 実習日数

実習日数は5日間で最も多く50%を占め、次いで10日間で28%、12日間で20%であった。実習日数が1日という学生については、実習期間は5日間であったが、体調不良のため初日のみの参加となった。



## 2) 実習プログラムの改善と開発

### ① 実習後の学生の意見収集(実習日誌、レポート、実習後アンケート)および整理

本実習の報告として、参加学生に実習日誌の提出と実習終了後アンケートを課している。参加学生120名のうち119名(99%)から提出があった。その結果をここに示す。

図1

実習日数については、ほとんどの参加学生から希望通りであったとの回答であった。

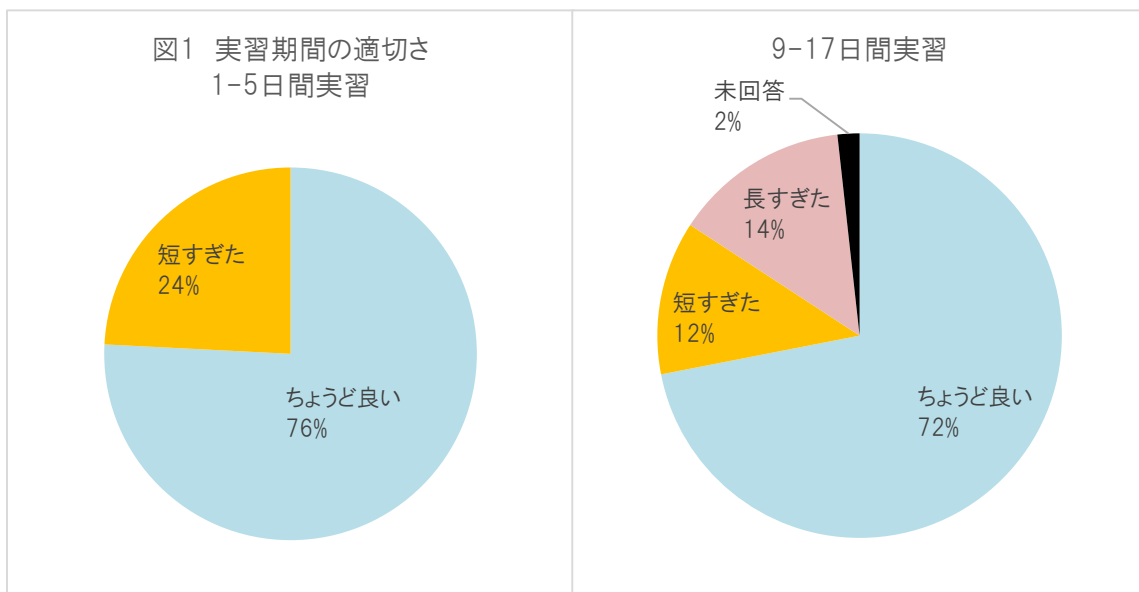


図 2、3、4

図 2 に示すように 90%以上の参加学生から実習内容を理解できたとの回答が得られたのは、図 4 に示す実習先の担当獣医師とのコミュニケーションがよく取れたことが要因と考えられる。実習終了後アンケートの感想文(ページに掲載)にも、学生が「実習現場で積極的に獣医師に質問することができた」、また「担当獣医師から診断や治療方法等について丁寧な説明を受けることができた」等のコメントが多く見られた。実習内容を理解できたこと、獣医師が働く臨床現場を実体験できたこと等が図 3 に示す実習内容に対する満足度の高さを示していると考えられる。

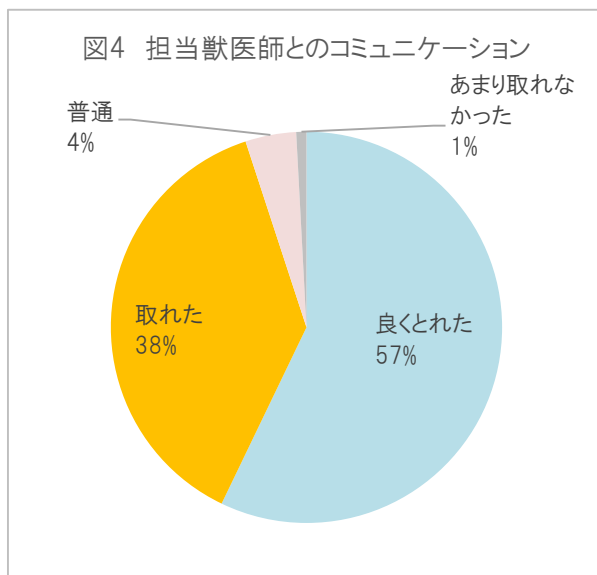
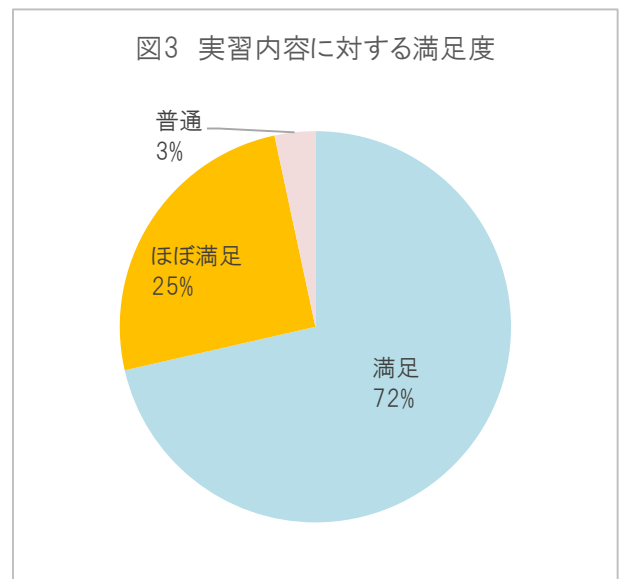
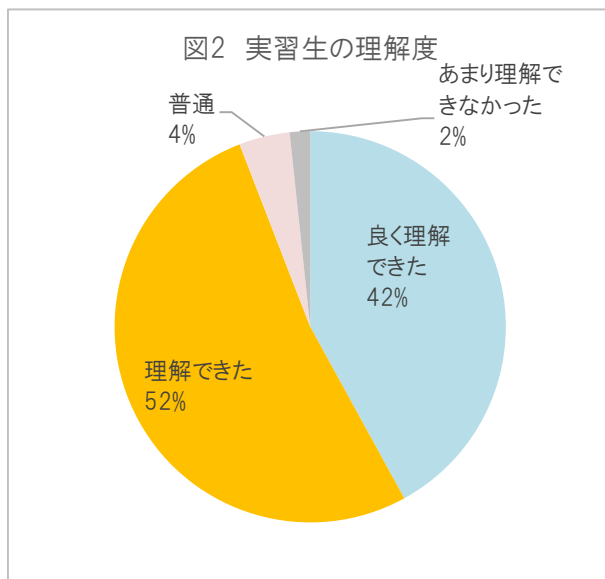
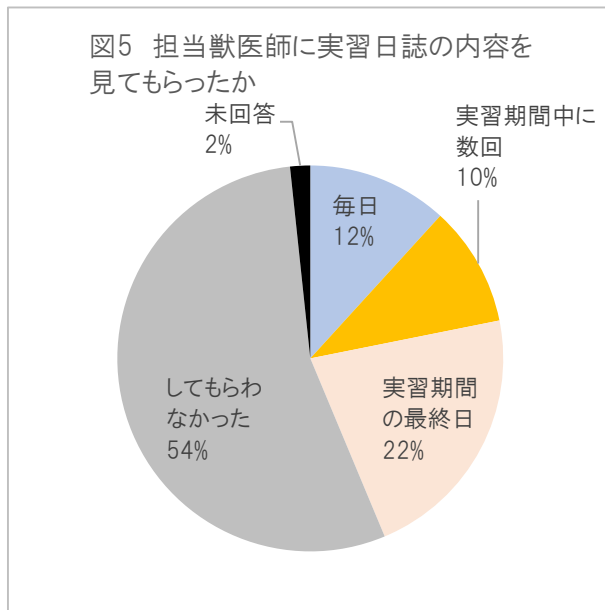


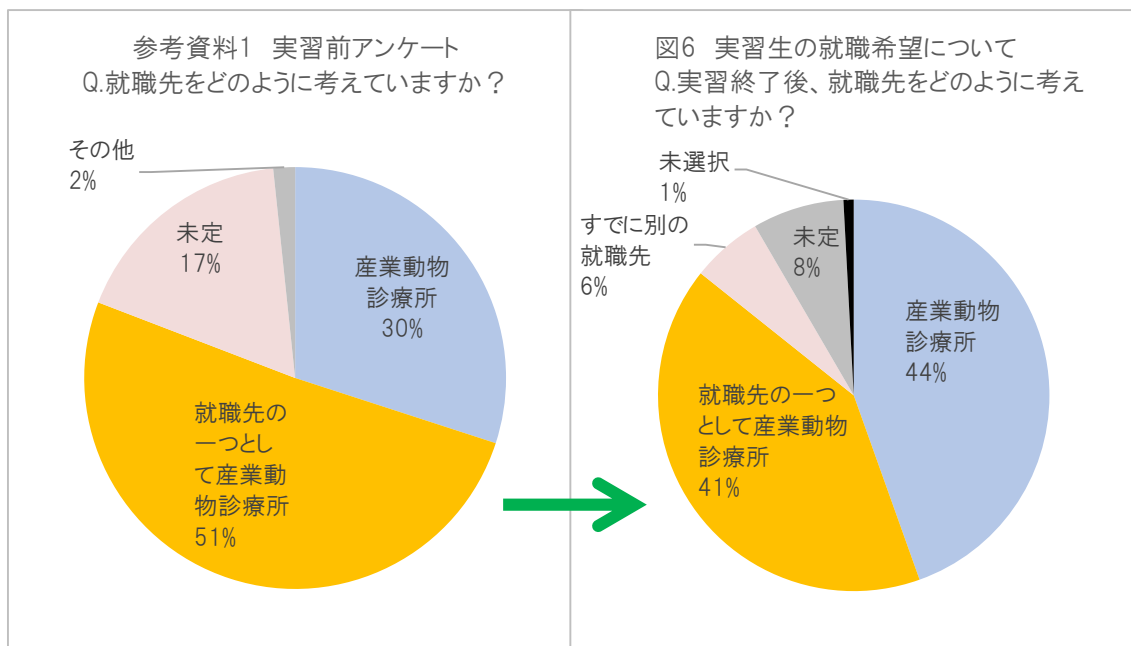
図 5

44%の参加者が担当獣医師に見てもらったと答えたが、56%にはその機会がなかった。



参考資料 1 および図 6

実習生の就職希望については、将来の進路として産業動物臨床獣医師を志す 5 年生のみならず獣医学の知識が少ない低学年においても、本実習に参加することで、臨床現場の獣医師の仕事を感じられたことで、産業動物臨床分野への理解が深まり、将来の進路の一つとして産業動物臨床獣医師を考慮する学生の割合が増えたと言える。



※実習前と実習後に同じ学生(119名)からアンケートを回収した。

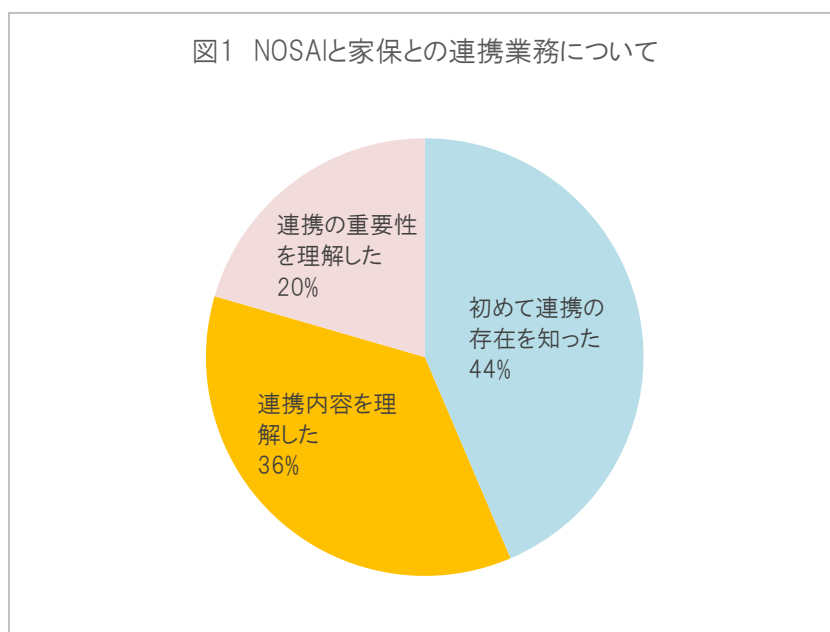
②学生および実習現場からの意見をもとに、問題点の洗い出しと実習プログラムの改善および開発

学生からの意見(実習終了後に提出されたアンケートから収集)

図1 NOSAI と家保との連携業務に関するアンケート集計結果

家保との連携業務を必要に応じて実体験させるプログラムを盛り込んだ本実習では、参加学生 120 人のうち 39 人が NOSAI と家保との連携業務の在り方・重要性を理解・認識するか、実際に連携業務(採材、検査、病理解剖、病理組織診断等、勉強会等)を体験した。その 39 人の理解・認識度を図 1 に示す。

図 1 で 44%の参加学生が初めて連携の存在を知ったと回答していることから、本事業のような実習に参加しないと連携を知る機会が少ないと考えられる。この結果から、本事業によって産業動物臨床と家畜衛生の連携を知る機会を提供するができると思われる。



#### 家保との連携業務に関する実習生からのコメント

実習生の実習日誌、実習レポートおよび終了後アンケートから抜粋した。

- ①検査依頼に関する書類の提出の際に、家畜保健衛生所の概要説明を受けた。
- ②NOSAI と家保の勉強会に参加した。
- ③流産胎子の原因の検査を家畜保健衛生所に依頼した。
- ④市営育成牧場のアナプラズマ発生予防のためのダニ対策や、白血病蔓延予防のためのアブ対策に NOSAI と家畜保健衛生所が協力していた。また、企業農場では近年頻発している臈膿傷、臍帯炎に対して 2 者で協力して予防対策を講じていることから、疾病の大発生をいかにして予防するか、という群管理における疾病予防対策に 2 者が協力して

取り組んでいることがわかった。

- ⑤検査依頼の材料採取として、ヨーネ病検査の採血、BVD 検査の採血に立ち会った。
- ⑥家畜保健衛生所にて解剖検査、会陰部から臀部にかけて、筋肉内部の変性がみられた。  
臓器の肉眼的所見は異常なし。細菌による感染が疑われた。
- ⑦農家指導時に立ち会い家畜保健衛生所と情報の共有を行った。
- ⑧家畜保健衛生所の施設見学をした。
- ⑨流産の病理解剖のために家畜保健衛生所へ行った。
- ⑩家畜保健衛生所でその働きなどについての説明を受けた。
- ⑪繁殖農家で、牛白血病検査のため採血、家畜保健衛生所と宮崎大学に検査依頼をした。

#### 実習生の感想(実習終了後アンケートの感想より抜粋)

##### ●岩手大学 1 年 実習地:千葉県

専門科目の勉強をしていない状態で実習に参加することには不安もあったが、担当の先生方が丁寧に理解できるよう教えてくださったので実習期間中は充実した毎日を過ごすことができた。低学年のうちに実際の産業動物臨床獣医の活動を知ることができ、今後の進路の参考に活かせるだけでなく、獣医学に対するやる気も上がり学習意欲も高まった。これまで抱いていた産業動物臨床分野へのイメージも変わり、やはり実習にしてみることは大切だと感じた。

##### ●東京農工大学 2 年 実習地:岡山県

今まで NOSAI という存在は知っていましたが、どのようなことをしているのかはぼんやりとしか知らなかったため、今回の実習で先生方に随行するうちにその仕事内容等が把握できるところまで行けたので良かったと思います。まだ専門を学んでいない中、行ってもよいのか不安ではありましたが、診療所の先生方は丁寧に教えてくださったので問題なく過ごすことができました。

##### ●鹿児島大学 3 年 実習地:鹿児島県

初めて経験することばかりでしたが、3 年の私に合わせたレベルで丁寧に説明してくださいました。往診随行することで、今まで漠然としかわからなかった NOSAI の仕事内容をよく知ることができて良かったと思います。

##### ●北里大学 5 年 実習地:宮崎県

NOSAI という団体を聞いたことはあっても実際にどのような業務を行っているのか知りません

でしたが、家保などの防疫対策とは違い診療が中心の業務でした。農家さんとのコミュニケーションなども楽しく感じた理由の一つだったように思います。机上で知識として習ったことはあっても、実際に見たり体験したりすると、その分野に関する知識の定着度や興味が断然変わると感じました。

●宮崎大学 4年 実習地:岡山県

NOSAI の実習というと男の人が多くてかなり厳しい実習先を想像していましたが、女性も多く、担当の先生方が優しく、とても楽しく実習期間を過ごせました。聞かれたことにうまく答えられなくても、知っていて当然のことを質問してしまっても丁寧に答えていただき、多くのことが勉強できました。実習が終わる頃になって、怖がらずにいろいろ質問をし、治療も手伝わせてもらえばよかったと思いました。

●鳥取大学 5年 実習地:兵庫県

初めて NOSAI で長期間臨床実習も参加しましたが、大学で学習したはずのことが頭に入っていないことを実感。今回の実習を通して、知識と現場の臨床が少しつながったような気がします。今まで産業動物臨床に進むか迷っていましたが、実習に参加し産業動物臨床に携わりたいという気持ちが強くなりました。

●麻布大学 5年 実習地:北海道

今回初めて 2 週間実習をさせていただきましたが、長いと感じさせないほど往診、手術が面白く、診療所の先生方や農家の方々と親しくなれました。1 週間だと“お客さん”で終わってしまいますが、2 週間だと仕事内容がわかり、積極的に参加することができました。北海道 NOSAI に就職したいという気持ちが一層強くなりました。

## 実習プログラムの改善

実習前および終了後アンケートの質問項目の見直しを行った。

様式 5  
平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習  
スタンダード編・事前アンケート

大学名 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

1. NOSAI 夏期臨床実習への参加を希望する理由・動機は何ですか。(該当する番号に○印をしてください、複数可)

- 1 就職の検討のため。
- 2 大動物臨床に興味があったため。
- 3 大学の単位取得のため。
- 4 大学の講義・実習の補完のため。
- 5 その他 ( )

2. 就職先をどのように考えていますか。(該当する番号に○印をしてください)

- 1 産業動物診療所に就職を希望する。(実習先・その他)
- 2 就職先の一つとして産業動物診療所を考えている。(実習先・その他)
- 3 すでに別の就職先を決めている。

3. 家畜保健衛生所を聞いたことがありますか？(ある・ない)

4. 3.であると答えた方は、その仕事内容を知っていますか？(知っている・知らない)

5. NOSAI 夏期臨床実習への参加を希望する動機等について作文してください。(300 字程度)

6. NOSAI 夏期臨床実習で学びたい項目を記載してください。

実習前に家畜保健衛生所との連携業務について意識を高めてもらうため、質問項目を増やした。

### 平成 27 年度事前アンケート

様式 5  
平成 28 年度 NOSAI 夏期臨床実習 事前アンケート

\*申込をした方に○を付けてください

スタンダード編    ステップアップ編

氏名	所属大学	学年

1. NOSAI 夏期臨床実習への参加を希望する理由・動機は何ですか。(該当する番号に○印をしてください、複数可)

- 1 就職の検討のため。
- 2 大動物臨床に興味があったため。
- 3 大学の単位取得のため。
- 4 大学の講義・実習の補完のため。
- 5 その他 ( )

2. 就職先をどのように考えていますか。(該当する番号に○印をしてください)

- 1 産業動物診療所に就職を希望する。(実習先・その他)
- 2 就職先の一つとして産業動物診療所を考えている。(実習先・その他)
- 3 すでに別の就職先を決めている。

3. 家畜保健衛生所の仕事内容を知っていますか？(知っている・知らない)

※家保について知らない場合、実習先 NOSAI の担当獣医師に尋ねましょう。

4. 3.で知っていると答えた人は、その仕事内容について記載してください

5. 3.で知っていると答えた人は、NOSAI と家畜保健衛生所との間で連携業務が行われていることを知っていますか？(知っている・知らない)

6. NOSAI 夏期臨床実習へ参加希望する動機、学びたい項目等について作文してください。(300 字程度)

### 平成 28 年度事前アンケート



実習終了後アンケートの家畜保健衛生所との連携に関する質問項目の見直し

平成 27 年度終了後アンケート

8. NOSAIと家畜保健衛生所の連携について
- 1 実習期間中にNOSAIと家畜保健衛生所の連携が無かった
  - 2 今回の実習で初めて家畜保健衛生所との連携について知った
  - 3 家畜保健衛生所との連携について分かった
  - 4 家畜保健衛生所との連携の重要性を実感した
  - 5 家畜保健衛生所との連携がよく分からなかった

9. 実習の感想を書いてください。(学生向けの募集案内などに掲載する場合があります)

ご協力ありがとうございました。

※実習終了後 1 週間以内に NOSAI 夏期臨床実習事務局 (岐阜大学) に提出してください。

提出先

NOSAI 夏期臨床実習事務局  
 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科  
 産業動物臨床学研究室 大場恵典  
 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1  
 電話:058-293-2896 FAX:058-293-3466  
 メールアドレス: chba@gifu-u.ac.jp

NOSAIと家畜保健衛生所との連携業務の理解度について質問項目を増やした。

平成 28 年度終了後アンケート

8. NOSAIと家畜保健衛生所の連携について該当するものを選んでください。(複数回答可)
- 1 家畜保健衛生所へ行った(施設見学、業務見学、検査材料を持ち込んだ、勉強会等に参加した)
  - 2 家畜保健衛生所の担当獣医師に接触する機会があった
  - 3 家畜保健衛生所へ検査を依頼するため、または、家畜保健衛生所からの依頼で採材などの業務に立ち会った
  - 4 NOSAIの担当獣医師から家畜保健衛生所に関して説明を受けた、または、家畜保健衛生所について質問をした
  - 5 該当なし

9. NOSAIと家畜保健衛生所の業務についての理解度について

- 1 よく理解できた 2 理解できた 3 普通 4 あまり理解できなかった

10. NOSAIと家畜保健衛生所の業務について、実習前と実習後での理解度は上がりましたか。

- 1 理解度が上がった 2 変化なし

11. 今後の実習を充実したものにするため、実習内容等についてご意見、ご要望がありましたら、記載してください。

12. 実習の感想を書いてください。(学生向けの募集案内などに掲載する場合があります。)

ご協力ありがとうございました。

※実習終了後 1 週間以内に NOSAI 夏期臨床実習事務局 (岐阜大学) に郵送またはメールに添付ファイルとして下記アドレスまで送信してください。

(提出先) NOSAI 夏期臨床実習事務局

岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科 産業動物臨床学研究室 大場恵典  
 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1  
 電話:058-293-2896 FAX:058-293-3466 メールアドレス: chba@gifu-u.ac.jp

### ③実習担当者(NOSAI や家畜保健衛生所など)との意見交換

新規実習プログラムを実施した 10 道県 NOSAI の実習担当者との会議で、平成 27 年度実習実績報告を行い、出席した 8 NOSAI から意見等を収集した。

実習生受入 NOSAI から実習に関する質問を受け、それに事務局(岐阜大学)が回答した。

- ① 北海道:実習終了後のアンケートを見ると、獣医師に実習日誌の内容をチェックしてもらっていない学生が多いのではないかと(スタンダード編:66%、ステップアップ編:41%)。  
(事務局)→現場の獣医師に実習日誌チェックを依頼していない。積極的な学生ほど獣医師に実習日誌のチェックをお願いし、きちんと見てもらう傾向がある。
- ② 北海道:平成 29 年度から参加型臨床実習が始まるが、少なくとも実習は 5 年生までに終了しておいて欲しい。実習により獣医学生の産業動物臨床分野への就職意欲を刺激することができるが、就職活動時期を考慮すると 6 年生になってからでは遅い。  
(事務局)→参加型臨床実習の実施時期は大学毎に対応が異なる。本事業における夏期臨床実習は、参加者の対象を原則 5 年生以下と考えている。
- ③ 岡山:実習後のアンケートを見ると、スタンダード編への参加者において実習後に「他の就職先を予定している」と回答した学生の割合が増えている。実習中に何か産業動物臨床に対して悪いイメージを持ったのではないかと?  
(事務局)→産業動物臨床の現場を見て、自分の将来像に結びつかないと考える学生がいても不思議ではない。それを知ることができた学生がいることは、この実習を実施することの効果の一つではないだろうか。いっぽうで、実習参加後に産業動物分野を就職先として考える学生の割合は増えており、実習参加が産業動物臨床分野への就職を刺激する効果があることは間違いない。
- ④ 広島:女子学生のほうが夏期臨床実習への参加数が多いのでは?  
(事務局)→これまで男女別の参加統計を取っていないため不明である。しかし、授業への意欲は総じて女子学生の方が高い印象を持っている。また、産業動物臨床分野を希望する女子学生は低学年のころからその意思を示していることが多く、獣医学を学ぶ目的意識が男子学生よりも強いようだ。人材確保を考えると女性獣医師の積極的雇用が重要であり、雇用する NOSAI は結婚や出産を経ても働きやすい職場環境の整備が必要となる。(後日確認した参加学生男女比、平成 27 年度:男性 40.2% 女性 59.8%、平成 26 年度:男性 38.0% 女性 62.0%)
- ⑤ 岡山:獣医学生は、将来的に臨床獣医師をやりたいと考えている人は多いか?  
(事務局)→そう思う。就職後に非臨床獣医師から、臨床獣医師に転職する人もおり、その傾向は高いようだ。

実習生受入 NOSAI から、今年度実習の総評等がそれぞれ述べられ、必要に応じて事務局(岐阜大学)が回答した。

- ① 北海道:今年度は約 60 人の NOSAI 夏期臨床実習生を受け入れたが、総じて実習態度

は良好であった。参加者は、総じて産業動物臨床獣医師を目指す学生が多いようだ。

- ② 山形: 今後は、夏期だけではなく他の季節にも実習を受け入れていきたい。
- ③ 岡山: 今年度は、管内の 5 カ所の診療所に実習生を受け入れた。参加学生の実習態度は昨年に比べておおむね良好であった。この実習に際して現場獣医師は、実習生への丁寧かつ正確な説明が求められるため、結果的に獣医師自身の技術や知識レベルを向上の機会が得られた。
- ④ 広島: 実習現場の獣医師からの NOSAI 夏期臨床実習参加学生の評判は総じて良かった。実習参加学生の実習後アンケートには、学生は良いことしか書かないようだ。現場としては、できることなら参加学生の本音を聞きたい。

(事務局)→実習後アンケートに、実習の改善点などを書けるようにフォームを工夫する。

- ⑤ 鹿児島: 今年度は 8 名の実習参加を受け入れたが、そのうち 4 名は希望する実習先に特定の診療所を指定してきた。このように特定の診療所や実習日程に希望が集中する現状を打開したい。鹿児島という立地上、離島にも家畜診療所があるので、そこでも実習して欲しいと考えている。希望する実習生の旅費や宿泊経費は助成できないか？

(事務局)→学生は経費を考慮して宿泊施設がある診療所に希望が集中する。実習日程については学生ごとに事情があるため整理できない。本事業から旅費や宿泊経費を出すことはできない。

## 関連会議等

### 1) 第1～3回コーディネーター打合せ会議

協力校3校(酪農学園大学、北里大学、鹿児島大学)のコーディネーターとの会議にて実習プログラム等について意見交換を行った。

#### ①第1回コーディネーター打合せ会議

日時:平成27年6月16日(火)14時～16時

場所:東京大学農学部 フードサイエンス棟5階セミナー室

出席者

岐阜大学

特任教授 小森 成一

教授 大場 恵典

特定研究補佐員 高島 諭

酪農学園大学

教授 田島 誉士

北里大学

准教授 菊池 元宏

鹿児島大学

教授 窪田 力

東京大学(オブザーバー)

教授 杉浦 勝明

特任研究員 今村 昌平

#### 1. 開会

#### 2. 挨拶

#### 3. 資料説明および意見交換

##### 1) 平成27年度業務計画について(資料1)

平成27年度本事業メンバーについて(資料2)

##### 2) 平成27年度NOSAI夏期臨床実習中間報告(資料3)

##### 3) 関連フォーラム開催について

平成27年度獣医師会年次大会(秋田)の7月企画会議で参加検討

#### 4. その他

②第2回コーディネーター打合せ会議

日時:平成27年11月13日(金)13時～15時

場所:東京大学農学部 フードサイエンス棟5階セミナー室

出席者

岐阜大学

特任教授 小森 成一

教授 大場 恵典

特定研究補佐員 高島 諭

酪農学園大学

教授 田島 誉士

北里大学准

教授 菊池 元宏

鹿児島大学

教授 窪田 力

1. 開会

2. 挨拶

3. 資料説明及び意見交換

1)平成27年度NOSAI夏期臨床実習の実績報告

①申込みおよび参加人数等の状況

②終了後アンケートの結果

2)平成27年度シンポジウムの開催案

①開催日時および場所

②プログラムと演者

3)文部科学省ホームページ公開用平成26年度事業報告(案)

4. その他

③第3回コーディネーター打合せ会議

日時:平成28年3月14日(月)13時～14時30分

場所:東京大学農学部フードサイエンス棟5階セミナー室

出席者:

岐阜大学

特任教授 小森 成一

教授 北川 均

教授 大場 恵典、

酪農学園大学

教授 田島 誉士

北里大学

准教授 菊池 元宏

鹿児島大学

准教授 安藤 貴朗

1. 開会

2. 挨拶

3. 平成28年度の本事業について

1)平成28年度業務計画書(案)について

2)平成28年度NOSAI夏期臨床実習実施要綱について

3)平成28年度NOSAI夏期臨床実習運営スケジュールについて

4. その他

## 2) 全国獣医系大学関係代表者協議会における事業説明

### ①第 103 回全国大学獣医学関係代表者協議会

1. 日時 平成 27 年 9 月 6 日(日) 13:00～15:30
2. 場所 北里大学獣医学部大会議室 青森県十和田市東二十三番町 35-1
3. 議題
  - I. 来賓挨拶
  - II. 第 102 回全国大学獣医学関係代表者協議会議事録の承認
  - III. 報告事項
    - 1) 国公立大学獣医学協議会報告
    - 2) 私立獣医科大学協会協議会報告
  - IV. 協議事項
    - 1) 分野別第三者評価について
    - 2) 共通テキスト編集小委員会報告
    - 3) コアカリキュラム検討小委員会報告
    - 4) 動物診療施設小委員会報告
    - 5) 全国共同実習事業報告
    - 6) 広報委員会報告
    - 7) 共用試験委員会報告
    - 8) その他

### ②第 104 回全国大学獣医学関係代表者協議会・事業説明資料

1. 日時 平成 28 年 3 月 29 日(火) 13:00～
2. 場所 東京大学農学部 3 号館 4 階会議室 東京都文京区弥生 1-1-1
3. 議題
  - I. 来賓挨拶
  - II. 第 103 回全国大学獣医学関係代表者協議会議事録の承認
  - III. 報告事項
    - 1) 国公立大学獣医学協議会報告
    - 2) 私立獣医科大学協会協議会報告
  - IV. 協議事項
    - 1) 獣医学教育評価について
    - 2) 共通テキスト編集委員会報告
    - 3) コアカリキュラム検討委員会報告
    - 4) 動物診療施設委員会報告
    - 5) 参加型臨床実習検討委員会報告
    - 6) 全国共同実習事業報告
    - 7) 広報委員会報告
    - 8) 共用試験センター報告
    - 9) その他

### 3) 実習担当者会議・議事次第

家畜衛生分野と産業動物診療分野を連携させた実習プログラムを実施した 10 NOSAI のうち 8 NOSAI の実習担当者が会議に出席し、以下の議事次第について意見交換等を行った。

日時と場所

平成 28 年 1 月 7 日(木)14:00-17:30 全国農業共済会館 6 階 会議室

出席者

(全国農業共済協会)

企画研修部 次長 横尾 彰、主任 下田 崇

(農業共済組合連合会)

北海道農業共済組合連合会 家畜部 部長 廣田 和久、家畜部 家畜事業グループ 課長 伊藤 純一

山形県農業共済組合連合会 診療技術課 今野 幹雄

千葉県農業共済組合 家畜部診療課 課長 山本 弘武

兵庫県農業共済組合連合会 家畜部 部長 小田 修一

島根県農業共済組合連合会 事業部 家畜課 家畜課長 中倉 亨

岡山県農業共済組合連合会 家畜部長 植月 義友、家畜課長 日下 知加久

広島県農業共済組合 家畜部 部長 大川 雄三

鹿児島県農業共済組合連合会 家畜部 家畜部長 和田 正治

(岐阜大学)

特任教授 小森 成一

教授 北川 均

教授 大場 恵典

事業補助員 高島 諭


1. 開会
2. 挨拶
3. 資料説明および意見交換
  - 1) 平成 27 年度 NOSAI 夏期臨床実習実績報告(資料 1)
  - 2) 平成 28 年度の募集要項について(資料 2)
  - 3) 平成 28 年度 NOSAI 夏期臨床実習運営スケジュールについて(資料 3)
  - 4) 平成 27 年度関連フォーラム(3 月 14 日開催)について
  - 5) 平成 29 年度以降の新たな事業展開について(資料 4)
4. 意見交換
5. その他



#### 4) シンポジウム(関連フォーラム)の開催

平成 27 年 3 月 14 日に、本事業の分野 1「公衆衛生分野における全国の実習システムの構築」を担当する東京大学と合同で平成 27 年度事業成果発表を含んだシンポジウムをポスターに示す要領で開催した。

出席者(全 29 名):文部科学省 1 名、全国農業共済協会 2 名、公益社団法人中央畜産会 1 名、国際獣疫事務局 1 名、愛媛県動物愛護センター1 名、岐阜県農政部中央家畜保健衛生所 1 名、北海道農業共済組合連合会 1 名、岡山県農業共済組連合会 1 名、北海道大学 1 名、帯広畜産大学 1 名、酪農学園大学 2 名、岩手大学 1 名、北里大学 2 名、東京大学 5 名、東京農工大学 1 名、日本大学 1 名、岐阜大学 3 名、大阪府立大学 1 名、宮崎大学 1 名、鹿児島大学 1 名)



獣医学  
教育実習  
サミット

## 日本の次世代獣医師を 育成するために PART 2

2016年3月14日(月) 15:00-17:15  
東京大学農学部内弥生講堂アネックスセイホクギャラリー講義室

---

「大学における公共獣医事教育推進委託事業」  
事業概要と今年度の実績 15:00-15:30

杉浦勝明(東京大学大学院 教授 分野1チーフコーディネータ)

小森成一(岐阜大学 特任教授 分野2チーフコーディネータ)

実施機関からの報告 15:30-16:15

「笑顔の愛媛でVPcamp」岩崎靖(愛媛県動物愛護センター所長)


「NOSAIにおける夏期臨床実習の現状と課題」横尾彰(全国農業共済協会企画研修部次長)

「家畜保健衛生所でのインターンシップの現状と課題」桜井良恵(岐阜県中央家畜保健衛生所 技術課長補佐)


獣医学教育の国際化 16:15-17:15

16:15-16:45 「獣医学教育及び獣医事法定機関に関するOIEの提言と取組み」釘田博文(国際獣疫事務局 OIEアジア太平洋地域代表)


16:45-17:15 「国際認証を目指す産業動物臨床実習-北大・帯畜大共同獣医学課程の取組」猪熊豊(帯広畜産大学 教授)



主催



VPcamp  
公衆衛生獣医師インターンシップ



NOSAI  
産業動物臨床獣医学実習

産業動物臨床獣医学実習プロジェクト  
NOSAI夏期臨床実習

## 5) 個別協議

下記の日程で、関係省、全国農業共済協会および複数県の農業共済団体と個別に協議し、事業説明および農業共済団体等における臨床実習システムについての協議、調整を行った。

平成 27 年 8 月 12 日 農林水産省および文部科学省

平成 27 年 12 月 21 日 文部科学省

平成 28 年 1 月 15 日 全国農業共済協会

平成 28 年 1 月 21 日 群馬県農業共済組合

平成 28 年 1 月 22 日 群馬県畜産課

平成 28 年 2 月 7 日 福島県農業共済組合連合会

平成 28 年 2 月 7 日 福島県畜産課

平成 28 年 2 月 11 日 岩手県農業共済組合連合会

平成 28 年 2 月 12 日 岩手県畜産課

平成 28 年 3 月 7 日 文部科学省

平成 28 年 3 月 11 日 静岡県農業共済組合連合会および静岡県畜産課

平成 28 年 3 月 15 日 沖縄県農業共済組合連合会および沖縄県畜産課

平成 28 年 3 月 17 日 北海道農業共済組合連合会